

3年薬物乱用防止教室 R6.3.6

令和6年3月6日(水)5校時、3年生は「令和5年度 薬物乱用防止教室」を実施しました。今年度も講師として学校薬剤師 福岡宏之 先生をお招きして、ご講演をお聞きし、学びを深めました。

先生のお話の中は、動画や画像を活用しながら分かりやすく説明してくださいました。麻薬や覚せい剤、違法ドラッグ等の薬物の怖さについての具体的な事例に生徒は驚いていました。

また、薬物の誘惑は自分たちが想像している以上に身近にあるということも知りました。



〈生徒の感想〉

- ・薬物の怖さは自分が思っていた以上だった。本当に怖かった。
- ・薬物は怖いので自分を守るために断ったり、その場から離れることを意識したい。大切な人を守るためにも気を付けたい。
- ・校外学習で裁判を見たときも、被告人の人は2回目だと言っていた。なかなかやめられず再犯率が高いという話だが、この世の中から薬物をなくすために自分は何ができるかと考えさせられた。



は2回目だと言っていた。なかなかやめられず再犯率が高いという話だが、この世の中から薬物をなくすために自分は何ができるかと考えさせられた。

生徒たちの感想からも、この教室の主な目的である

- ・「麻薬犯罪による被害者・加害者にならないよう、規範意識を育む」
 - ・「薬物の乱用拡大傾向が続いている薬物汚染についての知識を習得する」
- という2点について、正しく身に付けることができたと感じられます。

福岡先生、本日は本当にありがとうございました。